

令和6年度 浜松市立天竜中学校 学校評価

I 令和6年度の重点取組

【確かな知性部】	【豊かな感性部】	【健やかな心身部】	【教務・渉外・管理部】
○「課題解決に向けて生徒が主体的に取り組む授業」 ・基礎基本の定着、学習習慣の定着 ・タブレット持ち帰りによる家庭学習の充実 ・問題発見、問題解決学習の充実・振り返りの充実 ○考える力・伝える力の育成 ・他者を意識した表現活動の充実 ○ICT 機器の効果的な活用 ・タブレットの有効活用による授業の充実	○主体性・協働性・創造性が育つ学校行事・生徒会活動の充実 ・生徒が主体的、協働的、創造的に運営する学校行事 ・自治的生徒会活動やキャリアパスポートの有効活用 ○粘り強さ・レジリエンス・多様性を尊重する心が育つ活動の充実 ・他者から学び、多様性を認め合うことよさに気づく活動 ・特別な教科道德の充実 ・生徒主体の清掃活動やボランティア活動の推進 ・自分を鍛える部活動の充実	○互いのよさを認め、活力ある生徒を創造できる生徒の育成 ・発達支援教育の理念を根底に据えた生徒指導体制の確立 ・いじめ、不登校への丁寧な対応と未然予防対策の推進 ・カウンセリング機能、相談体制の充実 ○心身の健康の保持・増進・強化 ・食育の推進、生活習慣の確立、メンタルコントロール力の向上 ・体力の向上	○開かれた、特色ある学校づくりの推進・環境整備 ・生徒の地域交流、貢献の拡充によるキャリア教育の推進 ・コミュニティスクールによる特色ある学校づくりの推進 ・「自分探し」「夢実現」の支援「生き方講話」の実施 ○積極的な情報発信 ・各種たより、HPやブログ等での積極的な発信

II 自己評価

○生徒の評価

		R6	R5
生活アンケート	1 楽しく生活できている。	95%	93%
	2 安全で安心して生活できている。	95%	93%
	3 自分のクラスは何でも話せる雰囲気がある。	88%	83%
	4 困ったとき、相談できる先生がいる。	89%	87%
	5 元気に誰にでもあいさつできる。	85%	88%
	6 正しい身なりで生活することができている。	93%	94%
	7 係の仕事に責任もって行っている。	91%	92%
	8 清掃をしっかりと行っている。	92%	92%
	9 授業は集中して取り組むことができている。	84%	88%
	10 部活動は充実した取り組みができている。	78%	83%
	11 自分には、よいところがある。	80%	
	12 自分には、将来の夢や目標がある。	70%	
	13 人の役に立つ人間になりたいと思う。	89%	
	14 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う。	82%	
	15 スマホやSNS等の使い方について、家の人との約束を守っている。	81%	
学習アンケート	1 各教科の授業を通して、目標を達成できている。	87%	87%
	2 朝読書にしっかりと取り組んでいる。	90%	91%
	3 休み時間に次の授業の準備をし、2分前着席・1分前黙想を実行している。	89%	89%
	4 授業では学習課題を理解して取り組んでいる。	86%	87%
	5 先生の話や友達の発言をしっかりと聞いている。	91%	93%
	6 授業の内容をしっかりとノートにまとめている。	85%	92%
	7 積極的に挙手・発表をしている。	57%	52%
	8 授業中にむだ話や余分なことをしていない。	67%	77%
	9 授業の道具を忘れず、宿題は期限までに提出している。	78%	82%
	10 家庭学習を毎日平均1時間以上している。（塾や宿題を含む）	58%	66%

○保護者の評価

		R6	R5
保護者アンケート	1 学校は、安心安全で楽しく過ごせる場所である。	96%	95%
	2 学校は、分かりやすい授業をしている。	85%	85%
	3 学校は、基礎的な学力が身につくような授業をしている。	88%	87%
	4 学校は、個に応じた学習をしている。	58%	59%
	5 学校は、生徒一人一人を理解し、大切にしている。	86%	86%
	6 学校は、いじめのない集団（学校・学年・学級・部活等）づくりに取り組んでいる。	92%	88%
	7 学校は、地域や家庭と連携して教育活動を進めている。	87%	86%
	8 学校は、家庭訪問や三者面談を含め、困ったときに相談できる雰囲気がある。	88%	88%
	9 学校は、子どもの安全確認や健康管理のための取り組みを行っている。	93%	88%
	10 学校は、行事や参観会、便りやホームページ（ブログ）等の方法で、学校や子どもの様子を発信している。	96%	96%
	11 家庭で、スマホやSNS等の使い方についてルールを決め、守らせている。	74%	80%
	12 家庭で、「学校での出来事など」子どもの話に耳を傾けている。	94%	96%
	13 家庭で、家庭学習（宿題や自主勉強など）をする習慣が身につくようにしている。	63%	64%
	14 家庭で、「将来の夢」について子どもと一緒に話をしたり考えたりしている。	77%	77%
	15 本校のキャリア教育で育てたい「4つの力（関わる力・見つめる力・追究する力・見通す力）」を知っている。	67%	67%

III 学校運営協議会による学校関係者評価

令和7年2月5日(水)に開催した学校運営協議会において、自己評価結果、考察及び改善方策について委員に報告。委員からは以下のような意見があった。

- 生徒、保護者とも全般的には高い評価となっているが、家庭学習に関する項目の数値が共に下がっている。この結果を生かし、家庭での学習に取り組ませたい。
- スマートフォンやSNSに関する項目については、保護者として、子どもに厳しく言えないところがあり、大きな課題の一つである。機器の良さもあるため、家庭での使用ルールを決めて、時間的に使い過ぎないことを共有したい。
- アンケートから、学校が信頼されている様子が分かる。学習が苦手であっても「学校が楽しい」というベースが崩れなければ、生徒・保護者にとって安心は保たれるのではないかと。

IV 今後の改善方策等

- 授業におけるタブレット端末の活用は確実に広がっている。今後は、一人一人に合った課題や資料の提示など、個別最適な学びの充実に向けて学習活動を展開する。
- 学習習慣の定着が積年の課題となっている。今年度スタートしたタブレット端末によるドリル学習型家庭学習を、生徒が自分の課題（苦手）や興味に合わせた内容、分量で取り組めるよう、さらに進めていきたい。
- 生徒による自治的な活動のさらに活性化させるため、学級、その他集団におけるリーダーの育成に力を入れるとともに、学校生活上のルールや、新しい活動に関する提案など、生徒が主体性、創造性を持って学校を作っていく意識を持つことができるような活動を一層充実させ支援していく。
- アンケートや聞き取り等を活用して、いじめの早期発見、解決に向けた対応を組織的に行っているが、「いじめ対策委員会」の組織を生かし、今後も迅速な対応に心がける。